

款	2 総務費	項	7 地域活性化交付金事業費	最終予算額	決算額
		目	1 きめ細かな交付金事業費 (繰越明許)	127,291千円	99,581千円
担当課決算額				851千円	851千円
<p>○農村社会基盤整備事業 851千円 農村社会基盤整備事業測量設計業務委託料 851千円 実施箇所:金屋、逢東、下大江、上伊勢</p> <p>「成果」 高齢化等により維持管理能力の低下した農村集落における農業用施設の整備に寄与した。</p> <p>「課題」 なし</p>					
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	2 農業総務費	22,422千円	21,977千円
担当課決算額				22,422千円	21,977千円
<p>○人件費 14,478千円 一般職2名</p> <p>○農業総務一般事務 79千円 需用費 23千円 各協議会等負担金ほか 56千円 農業農村振興部会 1,000円 山村関係振興部会 55,000円</p> <p>○農業研修施設・広場管理 4,280千円 農業研修施設、農村公園などの維持管理費 大父木地親水公園 711千円 水辺公園 463千円 逢東農村公園 119千円 八橋農村公園 453千円 白鳳館 860千円 船上山休憩所 314千円 公用車4台の管理費等ほか 1,360千円 「成果」 町有施設の管理を行い、町民に快適に利用してもらえる環境を保ちました。 「課題」 施設の指定管理、庁内での管理担当課の統一など、管理の効率化が必要。</p> <p>○農業後継者育成対策事業(町単独分) 990千円 ・新規就農者定住促進交付金 900千円 長期定住の意思を持って新規に就農した者に対し交付金を交付し、農業振興の新たな担い手の育成、支援を行いました。 平成23年度交付対象者数 9名 ・農業青年会議活動補助金 90千円 農業青年会議の活動経費の助成を行い、農業に対する理解を深めるとともに、農業青年同士の交流を図りました。 主な活動内容:定例会、県外視察、水稻作研修(100a)、農協・県等の農業祭への参加 「成果」 琴浦町の今後の農業を担う若者たちの支援ができました。 「課題」 なし</p> <p>○琴浦町農業漁業指導協議会活動育成事業 70千円 町内の農林水産業関係団体で組織した本協議会において、定例の幹事会及び専門部会において、関係機関の連携及び課題解決を図るため、研究・提言を行いました。 構成団体:町・農委・JA・県(普及所)・大乳・改良区・漁協・県芝 ・全体会及び幹事会 7回 ・専門部会 11回(5部会) ・講演会 1回 ・耕畜連携調整会 1回 「成果」 農業漁業関係団体で、情報交換やテーマに沿った研修を行う。 「課題」 町内の農業漁業関係団体が集まる重要な組織をさらに充実させること。</p>					

- 各種農林融資資金利子補給事業 995千円
 農業用施設及び機械整備のための資金、運転資金等を借りた農業者に利子補給支援しました。

資金名	件数	利子補給額
農業近代化資金	1件	38千円
果樹等経営安定資金	50件	428千円
家畜飼料特別支援資金	19件	519千円
米価格低下緊急融資利子助成	2件	10千円

「成果」 資金利子を助成することにより、借入農家の経営安定に寄与しました。
 「課題」 なし

- 鳥取県農山漁村生活体験事業 1,085千円
 農林水産業や農山漁村等に関心を持つ県外に在住する若者等が、試験的に農林水産業を体験しながら農山漁村地域に滞在することを支援し、地域の活性化を図りました。

- ・新規就農者住宅修繕工事 75千円
 ドア取替え工事、ガス給湯器取替え工事、洗濯用水栓修繕工事
- ・新規就農者住宅に係る借地料 1,010千円
 土地の所有者(3名)に対する借地料を支払いました。

「成果」 新規就農者の定住を支援することができました。
 「課題」 建物の老朽化が進んでいるため、今後どのように対応していくか検討が必要。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	3 農業振興費	321,055千円	320,474千円
担当課決算額				321,055千円	320,474千円

- 人件費 11,419千円
 一般職 2名

- 農業振興対策事業 7,386千円
 ・指導農業士支援事業 28千円
 鳥取県知事の委嘱した東伯地区農業士会の年会費(指導農業士4名)を負担しました。

- ・果樹経営安定化対策事業補助金 2,072千円
 罹災時の経営安定化と産地維持を図るため、果樹共済への加入を促進する目的で共済掛け金の負担軽減を行いました。

JA鳥取中央(東伯地区)	梨	83戸	1,235,963円
	ぶどう	7戸	44,504円
JA鳥取中央(赤碕地区)	梨	102戸	791,151円

- ・梨公園維持管理事業補助金 60千円
 JA鳥取中央が保存整備している梨公園の維持・管理経費を支援しました。
 「成果」 生産者に町の独自補助したことで、意欲が上がった。
 「課題」 梨公園の活用による梨のPR

- ・平成23年度ブロッコリー産地再生緊急支援事業 3,428千円
 台風12号により被災したブロッコリーの再生産に要する経費を助成しました。

- ・台風12号等野菜緊急防除支援事業補助金 208千円
 台風12号により果樹、野菜の病害の発生を防止し、生育を回復させるため台風通過後の緊急防除に要する経費を助成しました。

- ・県環境保全型農業直接支援対策交付金 787千円
 有機農業に取り組む農業者に対して助成しました。

・農業用廃プラスチック等適正処理促進事業 190千円
 農業用廃プラスチック等の町内の山林及び原野等への不法投棄防止と環境保全を図るため、農業廃棄物の処理経費を助成しました。

JA鳥取中央 70,056円 琴浦町酪農協議会 120,000円

「成果」 農業廃棄物の不法投棄を防ぎました。

「課題」 なし

・中学生農業体験学習事業(東伯中1年生110名) 176千円
 野田集落と交流を図りながら、そば栽培農業体験を体験しました。
 8月種まき、9月花見、12月そば打ち



・二十世紀梨体験学習支援事業 437千円
 (八橋小4年生、東伯小3年生、古布庄小3年生、浦安小4年生、安田小4年生、成美小3年生)
 二十世紀梨の栽培体験学習を通じて、果実を作る苦労や収穫の喜びを体験しました。

4月交配、5月摘果・小袋掛け、6月大袋掛け、9月収穫祭、選果場見学

「成果」 実際に農作業を体験し、栽培した農作物を食べることで食育につながりました。
 また、地元農家から指導を受けたことにより、地域への関心を深めました。

「課題」 参加校が多くなっているため、実施農園や指導方法の集約などの検討が必要。

○農業経営基盤強化資金利子補給事業 8,356千円

・農業経営基盤強化資金利子助成補助金 8,356,474円

スーパーL資金を借入している認定農業者の利子負担軽減を行いました。

延べ35名。県1/2町1/2

「成果」 資金借入者の利子を負担することで経営安定に寄与しました。

「課題」 県の交付要綱改正に伴い、利子補給期間が5年までとなったため、その後の対応の検討が必要。

○中山間地域等直接支払推進事業 50,071千円

中山間地域の農地を保全するために交付金を交付しました。

対象:28集落協定 対象農用地面積:4,497,931㎡

交付金 48,142千円

推進事務 1,929千円

「成果」 農業生産に不利地である中山間地域の農地を保全した。

「課題」 集落協定を維持していくこと。

○農村地域総合推進事業 115千円

町担い手農家及び集落営農組織育成のための担い手育成支援協議会により、研修や経営改善支援を実施し、地域農業の推進を図りました。

認定農業者180名(内法人8、共同申請7)

・経営診断指導会 3回

・担い手農家研修 2回

「成果」 経営診断会・担い手研修とも予定通り実施した。

「課題」 県外研修(全国担い手サミット)に参加できなかった。

○認定農業者協議会活動 150千円

町農業担い手の組織である認定農業者協議会による会員相互の資質の向上・研鑽のための研修事業に対して支援を行い、地域農業リーダーの育成を図りました。

認定農業者協議会会員 180名

・先進活動事例視察 1回

・農業研修、講演会 2回

・総会、役員会、各部門別研鑽懇談会 8回

「成果」 会員研修等活発に活動が出来た。大山・北栄と3町交流会を初実施。

「課題」 認定農業者のメリットが少なくなる中で、新規会員をどう増やすのか。

- 特定野菜供給産地育成価格差補給事業 143千円
 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業に係る業務資金(積立金)を負担しました。
 「成果」 ブロッコリーの価格差補給を行うことができた。
 「課題」 なし
- 農林業地域改善対策事業施設の管理 89千円
 農林業地域改善対策事業で整備した施設の火災保険料等。対象:12施設。
 「成果」 施設管理を行った。
 「課題」 払い下げ等の資産処分の推進。
- チャレンジプラン支援事業 9,749千円
 意欲のある農業者等が作成した生産・流通等に係るプランの実現に必要な支援を行い、元気な農業者等を育成するとともに、地域農業の振興と活性化を図りました。
 ・「赤碕白ねぎ再生プラン」
 収穫機、播種機、移植機、剪葉機、苗箱導入費助成額 2,764千円
 ・「ブロッコリーでもっと頑張りたいプラン」
 貯氷庫、製氷機、冷凍機導入費助成額 6,985千円
 「成果」 農業者に対し栽培施設整備を支援し、地域農業の振興を図りました。
 「課題」 継続して実施状況を把握しておく必要がある。
- 農地・水保全管理支払交付金 12,854千円
 多面的機能を有す農地・農業用施設の資源の良好な保全と質的向上を図る地域ぐるみの共同活動への支援を行いました。
 また、老朽化が進む農地周りの農業用施設の長寿命化を図る向上活動へ支援を行いました。
 平成23年度
 共同活動
 協定地区数: 18地区
 対象農用地面積: 田 39,073a 畑 10,048a
 向上活動
 協定地区数: 34地区
 対象農用地面積: 田 62,523a 畑 8,091a
 「成果」 事業実施組織が非農家を取り込み、地域ぐるみでの農業用施設の維持管理及び長寿命化に繋がる活動の支援を行った。
 地域による自主的な農業用施設の維持管理及び補修・改修が行われた。
 「課題」 町内において、未取組地域があることから、本事業を活用し地域の自主的な農業用施設の改修等を促進する必要がある。
- 有害鳥獣対策事業 6,836千円
 イノシシ、ヌートリア、カラス等の有害鳥獣から農作物の被害を守るため、電気柵の設置や、有害鳥獣の捕獲等の委託を行いました。
 ・イノシシ等有害鳥獣捕獲奨励金事業 1,087千円
 イノシシ 86頭(10千円/頭)、ヌートリア 49頭(3千円/頭)、シカ猟期外 7頭(10千円/頭)
 シカ猟期 2頭(5千円/頭)
 ・有害鳥獣捕獲業務委託事業 540千円
 委託先 鳥取県猟友会八橋支部 東伯分会・赤碕分会
 ・イノシシ等被害防止対策事業 1,512千円
 電気柵設置地区 国実、大杉、別宮、認定農業者2名
 「成果」継続して取り組むことで成果が上がった。
 「課題」イノシシについては未整備地区に被害が移行するので継続して対策をする必要がある。
 カラスの対策についてはまだまだ不足している。猟銃以外の対策を検討する必要がある。



- ・鳥獣被害防止総合対策事業 3,697千円
鳥獣による農作物への被害を軽減するため、イノシシ侵入防止柵を設置しました。
設置地区：大父(L=3,100m)ワイヤーメッシュ
平田ケ平(L=6,500m)電気柵
「成果」被害防止に効果があった。
「課題」個体数の減にならない為、廻りに広がっていくことをどうやって防ぐのか。

○地産地消推進事業 351千円

- ・地産地消推進事業 351千円
9月10、11日に倉吉パークスクエアで開催された食のみやこ鳥取県フェスタ開催負担金
「成果」食のみやこ鳥取県フェスタにおいて町の特産品がPRできました。
「課題」なし

○就農条件整備事業 1,405千円

- 新規就農者へ機械購入経費等を助成し、経営の安定を支援しました。
軽トラック 2台
管理機 2台
動力噴霧器 1台
「成果」新規就農者の就農に必要な機械等の整備に関して支援を行うことができました。
「課題」なし

○琴浦町農林水産業活性化研究会 1,200千円

- 農林水産業の活性化・再生化を推進するため、鳥取大学と連携し課題解決と将来のあるべき構想を構築し、地域活力の推進を図りました。
・研究会幹事会 3回
・芝結束機の改良研究(鳥大 山名教授) 1,200千円
「成果」課題解決に向けて各種活動を行った。
「課題」課題解決に向けて一定の成果を上げるために組織を拡大してきたが、今後は特定の課題に対応しやすいように組織の規模縮小が必要。
芝結束機の完成がまだである。今後の対応の検討が必要。



○耕作放棄地全体調査事業 768千円

- 国が定めた耕作放棄地全体調査要領に基づき、平成20年度から町内耕作放棄地の調査を実施しました。
新規増加分 53ha
「成果」耕作放棄地の再生につなげることが出来る。
「課題」補助事業が無くなる中で、農業委員会との更なる連携が必要。

○次世代鳥取梨産地育成事業 1,200千円

- 梨産地活性化のため、ブランド化を目的とした鳥取県育成オリジナル新品種の早期導入と、それに伴う生産基盤の整備を図りました。
・生産基盤整備対策(改植支援、梨棚整備、かん水施設)
新植・改植 155本、果樹棚整備 15a、かん水施設 15a
「成果」新品種への切り替え支援を行った。
「課題」琴浦はいち早く新品種への切り替えに取り組んでいるが、改植等が鈍ってきており、鳥取県の果樹振興計画割合に達していない。また、新品種の数が多くて統一性が出るまでにもう少し時間がかかりそうである。

○二十世紀梨ブランド化事業 986千円

鳥取県梨産業活性化ビジョンの達成のため、9月中旬以降の味がのった旬の二十世紀梨を出荷し、消費者の評価を高めるための誘導施策として、奨励金を交付しました。(単県補助事業)

事業主体	奨励金額(円)	補助金額(円)	内町補助金額(円)
東伯梨生産部	59,000	39,334	19,668
赤碕果実生産部	1,420,500	947,000	473,500
計	1,479,500	986,334	493,168

「成果」 ブランド化するために味のよい梨を出荷する支援を行った。

「課題」 地区により出荷数量のバラつきが大きかったので統一していくこと。

○耕作放棄地再生推進事業 1,336千円

耕作放棄地の解消に向けて、再生事業と推進事業に補助金を交付しました。

・再生事業実施箇所 補助金額 886,280円

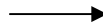
町内11箇所 面積 299a

・推進事業(栗ぼろたんの苗代補助)

苗木 533本 事業費 808,700円 補助金額 450,000円

「成果」 耕作放棄地の再生事業を実施し、耕作農地に返した。

「課題」 受け手の少なさと事業実施時期の難しさがある。工事費によっては、国事業が必要。



○農山漁村活性化プロジェクト支援事業 205,000千円

梨生産組合を琴浦で統一するとともに、新たにブランド力を上げるために糖度センサー付きの梨選果機を導入することにより品質保証していくことと、選果する人数を減らす。

琴浦梨選果場選果機新設。総事業費 410,000千円

「成果」 糖度センサー付きの梨選果機を導入することにより品質保証していく体制作りができた。

「課題」 選果機の品質保証を根拠として、琴浦梨のブランド化をしていく。

○就農応援交付金 1,060千円

新規就農の定着、早期経営安定を図るため、就農後3年間、用途を限定しない交付金を交付しました。

交付対象者 2名 (就農3年目及び1年目)

「成果」 新規事業であったが、新規就農者の就農支援の一環となりました。

「課題」 なし

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	4 畜産業費		
担当課決算額				10,919千円	10,756千円

○人件費 6,326千円

一般職 1名

○畜産一般事務 82千円

・鳥取県畜産推進機構負担金 81千円

・肉用牛特別導入事業基金利子積立金 1千円

○畜産振興対策事業 2,436千円

家畜個体能力の向上を図るため、飼育管理技術向上のための現地指導会の開催、優良精液の導入による改良への支援、優良和牛への飼育奨励金の交付等を行ないました。

- ・乳牛現地指導 1回
- ・優良精液の導入 和牛 155本、乳牛 410本
- ・優良種牝牛飼育奨励事業補助金交付牛 10頭



「成果」 優秀な改良牛を目指し、飼養者の経営安定につながりました。

「課題」 和牛・乳牛とも全共対策に向け、より改良の努力が必要。

○全共推進対策事業 256千円

H24導入予定町有牛(乳牛)視察(北海道)に流用。

「成果」 生産者の経営意欲向上につながった。

「課題」 より一層経営安定につながるよう支援が必要。

○家畜伝染病対策事業 1,656千円

口蹄疫の発生を予防するため、家畜飼養者に薬材を配布しました。

- ・消石灰1,000袋、消毒薬100本 大乳(酪農)、JA(肉用牛、豚)

「成果」 防疫体制の意識が高まりました。

「課題」 近隣諸国(台湾、中国、韓国等)で発生が継続しており、予断を許さない状態。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	5 農地費		
担当課決算額				468,322千円	421,512千円

○人件費 19,546千円

一般職 3名

○農地費一般事務 11,715千円

各種協議会等の負担金

県農業農村整備事業推進協議会会費 3,000円

県土地改良事業団体連合会負担金(一般賦課金)25,000円、(特別賦課金)263,000円

農道台帳管理賦課金 149,000円、中部土地改良推進協議会負担金 20,000円

農林土木事業利子補給等補助金 11,255,499円

○農業用施設等補修事業 604千円

農道や用排水路等といった農業用施設等の補修維持を行いました。

需用費 18千円

農道水路補修機械借上料 397千円

原材料支給 189千円

「成果」 県等の補助事業の対応とまらない箇所に原材料を助成し、水路や農道を保全し、安全な生活を守りました。

「課題」 地元の自主的な維持管理・補修を促す必要がある。

○しっかり守る農林基盤整備事業 5,079千円

町内農業農村生基盤等の整備を促進し、本町の農業の振興を図りました。

農業用施設補修借上料 645千円
 農業用施設補修原材料費 1,751千円
 工事請負費 2,683千円
 中津原地区水路、松谷地区水路



「成果」 農村集落で農業用のみならず重要な役割を果たす農業用施設について、関係者のみでの対応が困難な施設の改修及び補修を行い、安心・安全な農村環境の整備に寄与しました。

「課題」 引き続き、他事業との重複を避け、上位補助事業での実施を摸索する必要がある。

○県営畑地帯総合土地改良事業 14,907千円

国営事業と連携し、加勢蛇西地区の幹線水路・農道整備事業を支援しました。

・加勢蛇西地区 畑かん用水路、農道整備 測量試験・用地買収費等
 残額11,093千円をH24年度へ繰り越し

「成果」 農業基盤整備に伴い、農作物の品質向上及び干ばつ被害を防ぎました。

「課題」 畑かん末端施設の設置率の向上。

○県営広域営農団地農道整備事業(東伯中央地区) 18,068千円

中部地区の産業開発と振興のため広域農道の整備促進を図りました。

23年度事業費24,548千円×6.7%(市町負担)×68.11%(琴浦町負担)≒18,365千円
 残額297千円をH24年度へ繰り越し

「成果」 広域農道の整備に伴い、農業に関する労力の軽減及び地域間交流の促進増につながりました。

「課題」 当初計画より整備延長が縮小されたため、整備事業の推進及びこれまでの負担金額の再調整が必要。

○県営ほ場整備幹線道路等事業費及利子補給事業債務負担事業 65,570千円

農業基盤整備の充実を図るため土地改良事業等の助成を行い、地元負担を軽減しました。

・赤碕地区畑総事業補助金 24,821,145円
 ・東伯地区等土地改良事業補助金 38,357,888円
 ・大栄地区畑かん事業補助金 2,391,397円

「成果」 受益者負担金を町が負担することにより、受益者負担の軽減が図れた。

「課題」 低利率のものへの借り換えなど、補助金額の減額に向けた検討が必要。

○土地改良事業の推進 276,843千円

農業基盤整備の充実を図るため、赤碕・東伯土地改良区への助成及び国営造成施設の効果的運営のため東伯地区土地改良区連合への操作委託を行いました。

・操作委託 35,531千円
 ・基幹水利施設管理関係 2,410千円
 ・各土地改良区補助等 19,423千円
 ・かんがい施設管理システム整備事業補助 3,300千円
 ・土地改良区繰上償還事業補助金 214,379千円
 ・新農業水利システム保全対策事業負担金 1,800千円

「成果」 農業者により組織する各土地改良区において農業基盤の維持管理を行った。

国営造成施設を適切に維持・管理し、農業生産基盤の核である水資源を有効に活用した。

「課題」 将来的に持続可能な運営体制の確立。

- 国営かんがい排水事業 9,180千円
 農業基盤整備を図るため、東伯地区国営かんがい排水事業の円滑な事業推進を図りました。
 ・推進事務関係 364千円
 ・管理体制整備補助金 8,816千円
 「成果」 水利施設の多面的機能(防災・環境整備)の充実が図られた。
 「課題」 非農家を含めた管理体制づくりの促進。



- 農業体質強化基盤整備促進事業 H24年度へ全額(35,000千円)繰越し

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	5 農地費(繰越明許)		
担当課決算額				10,277千円	10,270千円

- 県営畑地帯総合土地改良事業 5,168千円
 国営事業と連携し、加勢蛇西地区の幹線水路・農道整備事業費の一部を負担しました。
 H22年度事業繰越分
- 県営広域営農団地農道整備事業(東伯中央地区) 5,102千円
 中部地区の産業開発と振興のため広域農道の整備事業費の一部を負担しました。
 H22年度事業繰越分

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	最終予算額	決算額
		目	1 林業総務費		
担当課決算額				6,200千円	6,070千円

- 人件費 5,651千円
 一般職 1名
- 林業総務一般事務 419千円
 ・各種負担金等
- | | |
|---------------------|----------|
| 国有林土地使用料 | 7,500円 |
| 県緑化推進委員会負担金 | 34,600円 |
| 全国森林環境・水源税創設促進連盟負担金 | 20,000円 |
| 治山林道協会負担金 | 102,000円 |
| 森林設計積算システム賃借料 | 254,730円 |
- 「成果」負担金や使用料を支払うことで団体の活動や継続使用について寄与した。
 「課題」なし

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	最終予算額	決算額
		目	2 林業振興費		
担当課決算額				47,855千円	47,646千円

- 森林病虫害等防除事業 7,758千円
 松くい虫の被害から松林を守るための予防措置、駆除措置を実施しました。
 特別防除:6月に117ha×2回空中散布を実施。 7,612,610円
 伐倒駆除:被害木11.17m³の伐倒、薬剤処理。 145,950円
- 「成果」松くい虫による被害を最小限にとどめることができた。また、伐倒により次年度の被害量を減らすよう努めた。
 「課題」区域の見直しが必要。



○森林整備地域活動支援交付金事業 1,521千円

森林の適切な育成管理推進のため、森林施業準備作業に対し交付金を交付しました。
境界確認等の施業準備作業を実施した団地に対して5千円/haを交付しました。対象:21団地

事務費 25,543 円
森林活動地域支援交付金 1,495,530 円

「成果」山林所有者の作業路網を改良することができた。
「課題」なし



○森林整備促進事業 33,940千円

・森林整備担い手育成対策事業補助金 402,355 円
町内林業労働者の社会保障充実を図るため、社会保険等の一部を5年間助成。
(県1/4、町1/4)

・竹林整備事業補助金 1,337,398 円
竹の抜き切り・皆伐等について補助を行いました。(県8.5/10補助)

・県緑の産業再生プロジェクト事業補助金 32,200,312 円
間伐について25万円/ha補助を行いました。(県10/10補助) 25,300,312 円
木造公共施設整備に補助を行いました。(県1/2補助) 6,900,000 円

「成果」森林整備や担い手の育成、放置竹林の整備に対し支援を行うことができた。
「課題」なし

○林業振興対策事業 2,878千円

適正な森林管理推進のため、森林現況調査や担い手対策、間伐促進対策等を実施しました。

・林業労働者福祉向上対策事業負担金 161,588 円
(財)鳥取県林業担い手育成財団への負担金

・緊急間伐実施事業費補助金 2,500,000 円
県の間伐材搬出促進補助事業(3,800円/m³)に町が1,000円/m³のかさ上げ。

・森林施業計画樹立事業補助金 216,000 円
施業団地の共同化を促進するため、施業計画の樹立、見直しの経費の補助。

「成果」町内の林業振興に寄与することができた。
「課題」事業の見直しが必要。

○ふれあい交流会館管理運営 1,060千円

赤碕ふれあい交流会館の管理運営経費。

施設利用者 延べ9,526人

「成果」赤碕ふれあい交流会館の管理をし、利用促進を図りました。

「課題」施設使用者の負担額を現行のままとするかどうかの検討が必要。

○とっとり共生の森森林整備事業 489千円

(株)損害保険ジャパン、県、町で協定を締結し、5年間船上山
周辺の森林保全活動を実施。


4年目の23年度は下刈り作業や約600本のコナラ等の植樹を
行いました。



「成果」植栽を行い、企業の森林整備に対する関心を強めることができた。

「課題」協定終了後の管理について新たに協定を結ぶ必要がある。

【農林水産課】

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	最終予算額	決算額
		目	2 林業振興費(繰越明許)	48,000千円	42,603千円
担当課決算額				48,000千円	42,603千円
<p>○県緑の産業再生プロジェクト事業補助金 42,603千円 「成果」県産材を活用した木造公共施設の整備。間伐や地籍調査の進んでいない森林境界の明確化に対し支援を行うことができた。 「課題」なし</p>					
款	5 農林水産業費	項	3 水産業費	最終予算額	決算額
		目	1 水産業総務費	11,297千円	10,866千円
担当課決算額				11,297千円	10,866千円
<p>○水産業振興対策事業 2,741千円 水産業の振興を図るため、県事業の負担金抛出、赤碕町漁業協同組合の運営事業の支援、同組合員の償還負担の軽減、共済掛金の負担軽減を支援しました。 ・県水産業振興対策協議会負担金 43千円 ・下水道受益者負担金 145千円 ・漁業近代化資金利子補給 7件分 利子補給1.0% 28千円 ・漁村環境改善センター運営費補助金 約1/3の支援 320千円 ・水産物種苗放流調査事業費補助金 サザエ稚貝60千個 アワビ稚貝15千個 1,317千円 ・漁獲共済掛金軽減事業補助金 22件分 漁家負担分の10% 174千円 ・漁業振興対策補助金 原油高騰対策事業の漁協負担分の助成 224千円 ・近場漁場資源増産促進事業補助金 伊ガキ付着面再生事業 391千円 ・漁業緊急保証対策事業補助金 融資信用保証料の一部助成 99千円 「成果」 漁業者の経営安定に一定の効果が見られました。 「課題」 資源の枯渇に対して漁期の設定や育成技術の確立に努力が必要。</p> <p>○漁業担い手育成研修事業 2,066千円 ・漁業雇用促進対策事業補助金 2,066千円 「成果」 新規青年就漁者の育成促進を図った。 「課題」 ひき続き後継者対策に対する支援が必要。</p> <p>○漁業の6次産業化を通じた水産物付加価値向上事業 6,059千円 ・6次産業化総合支援事業補助金 6,059千円 「成果」 水産物の加工・販売の促進が図られた。 「課題」 ひき続き、消費拡大につなげる支援が必要。</p>					
					
款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	6 緊急雇用創出費	59,967千円	58,678千円
担当課決算額				6,986千円	6,986千円
<p>○緊急雇用創出事業(農林水産課) 6,986千円 作業員を雇用し、農業基盤整備工事および農業用施設等の維持管理を実施しました。 作業員賃金(3名) 5,097千円 消耗品、燃料費 584千円 機械等借上料 1,231千円 生コン等補修資材原材料費 74千円 「成果」 雇用の機会を創出し、また、町内農業用施設のきめ細かな維持管理を実施しました。 「課題」 本事業終了後の維持管理の方法。</p>					

【農林水産課】

款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	1 現年発生農地災害復旧費	21,060千円	5,742千円
担当課決算額				21,060千円	5,742千円
<p>○現年発生農地災害復旧事業 5,742千円 工事請負費(11地区) 5,639千円 工事雑費等 103千円 「成果」平成23年台風第12号により被災した山川地区等11地区の農地災害について復旧工事の着手を行い、営農に支障を来さないよう早期発注に努めました。 「課題」平成24年度への繰越しを行い、引き続き営農に支障を来さないよう工事完成を行う必要がある。</p>					
款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	2 現年発生農業用施設災害復旧費	90,997千円	58,474千円
担当課決算額				90,997千円	58,474千円
<p>○現年発生農業用施設災害復旧事業 43,119千円 三本杉地区水路災害復旧工事ほか14地区 15,956千円 工事雑費等 2,219千円 測量設計業務委託料 24,944千円 「成果」平成23年5月豪雨及び台風第12号により被災した三本杉ほか13地区の農業用施設について、国の補助を受け復旧工事の着手を行い、営農に支障を来さないよう早期発注に努めました。 「課題」平成24年度への繰越しを行い、引き続き営農に支障を来さないよう工事完成を行う必要がある。</p> <p>○現年発生農業用施設小災害復旧事業 15,355千円 野田地区水路小災害復旧工事ほか5地区 2,503千円 農業用及び防火用水確保緊急工事 6,738千円 原材料費 857千円 借上料 4,943千円 賃金 314千円 「成果」平成23年台風第12号により被災した野田地区水路ほか4地区の農業用施設について、国庫補助事業の採択基準に満たないことから、小災害復旧事業債等による復旧に着手しました。 「課題」平成24年度への繰越しを行い、引き続き営農に支障を来さないよう工事完成を行う必要がある。</p>					
款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	2 現年発生農業用施設災害復旧費 (明許繰越)	14,664千円	11,340千円
担当課決算額				14,664千円	11,340千円
<p>○現年発生農業用施設災害復旧事業 11,340千円 小田股ダム落雷災害復旧工事 4,095千円 船上山ダム落雷災害復旧工事 7,140千円 工事雑費等 105千円 「成果」平成22年8月の落雷により被災した小田股ダム及び船上山ダムの堤体観測設備について、国の補助を受け復旧を行い、ダムの管理の運営に寄与しました。 「課題」災害復旧事業については、国への報告から申請など期限が短く関係者との調整など速やかな対応が今後も必要である。</p>					

款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	3 単県斜面崩壊復旧事業	9,100千円	千円
担当課決算額				9,100千円	千円
<p>○八橋地区単県斜面崩壊復旧工事 H24年度へ全額繰越し</p> <p>「成果」 八橋地区の宅地背後法面について、傾斜が急であり、落石及び一部の小崩落が見受けられていることから単県斜面崩壊復旧事業により斜面の復旧を行い、住民の安心・安全に寄与するため工事着手を行った。</p> <p>「課題」 平成24年度への繰越しを行い、早期の工事完了を目指し、住民の安心・安全に寄与する必要がある。</p>					
款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	4 現年発生林道災害復旧費	78,518千円	10,571千円
担当課決算額				78,518千円	10,571千円
<p>○現年発生林道災害復旧事業 8,211千円</p> <p>林道笹ヶ谷線ほか3路線 災害復旧工事 0千円</p> <p>測量設計業務委託料 8,117千円</p> <p>工事雑費等 94千円</p> <p>「成果」 平成23年台風第12号により被災した林道笹ヶ谷線ほか3路線の林道について、国の補助を受け復旧工事の着手を行い、営林及び山林の管理に影響のないよう事業に着手しました。</p> <p>「課題」 平成24年度への繰越しを行い、早期の工事完了を目指し、水源かん養等の多面的な機能を有す山林の維持管理に必要な林道の復旧を行う必要がある。</p> <p>○現年発生林道小災害復旧事業 2,360千円</p> <p>借上料 1,734千円</p> <p>原材料費 626千円</p> <p>○現年発生作業道災害復旧事業 H24年度へ全額(2,209千円)繰越し</p>					
款	10 災害復旧費	項	5 豪雪災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	1 豪雪災害復旧費(繰越)	54,283千円	26,298千円
担当課決算額				47,868千円	25,701千円
<p>○平成22年度雪害園芸施設等復旧対策事業 25,701千円</p> <p>平成22年度中に発生した大雪により全半壊した農業施設等の早期復旧を図るため、復旧に要する経費の一部を助成しました。</p> <p>復旧施設:ハウス34棟 JA鳥取中央 13,258千円 畜舎・堆肥舎5棟 大山乳業 12,378千円 樹体植替 37本 (有)アグリ琴浦 65千円</p> <p>「成果」 復旧経費を助成することにより、営農意欲の維持に繋がりました。</p> <p>「課題」 なし</p>					

款	12 諸支出金	項	1 諸費	最終予算額	決算額
		目	1 国庫支出金返納金	22,992千円	17,417千円
担当課決算額				2,747千円	2,747千円

○国県支出金返納金 2,747千円

家畜導入事業基金に係る国県造成額分の返納金 2,747,547円

「成果」 肉用牛を計画的に導入し、肉用牛の資源確保と繁殖農家の経営安定に貢献した。

「課題」 なし